

提携概要（アントワープ・ブルージュ港）

1. 提携年月日：2022年12月7日

2. 提携書

アントワープ・ブルージュ港と名古屋港の姉妹港宣言

アントワープ港と名古屋港は1988年に友好港提携を結んだ。

その後、2013年に、アントワープ港と姉妹港提携を、またゼーブルージュ港とパートナーシップ港提携を行った。

これらの提携により、名古屋港は、アントワープ港及びゼーブルージュ港と相互交流だけでなく、日本及び欧州における認知度を高めるため相互基盤の設立などに協力してきた。

そして、2022年4月、アントワープ港とゼーブルージュ港の統合に伴い、新たにアントワープ・ブルージュ港が誕生した。

この度、ベルギー王国王女アストリッド殿下率いる同国最高レベルの使節団が訪日するという好機に、長年に亘る友好と固い絆を祝い、これまでの協力分野である、両港間の交易拡大と新たなビジネスチャンス創設を目的とした機会の創出などに加え、カーボンニュートラル社会の実現に向け、互いに有益となる情報交換を行うこととし、今後も姉妹港提携を維持していくものとする。

この宣言書の署名により、アントワープ・ブルージュ港と名古屋港の姉妹港提携を、その根本にある友好・互惠・協力関係に立ち返り、維持していく事を宣言する。

2022年12月7日

名古屋港管理組合

専任副管理者 鎌田裕司

アントワープ・ブルージュ港湾公社

CEO ジャック・ヴァンダーメイレン